



## 第134回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜散策18区シリーズ・第9回」

平成31年2月6日(水) 「磯子区・根岸～磯子散策」

\*集合：JR根岸駅(改札口) 9時50分厳守同時出発

\*解散：JR磯子駅

ゆるキャラ

区の花



いそっぴ



コスモス

磯子区は、昭和2年10月1日の区制施行により誕生した、横浜市で最も古い区の一つです。区名は、地域の中心である「磯子」の名が採られました。昭和34年ごろから始まった根岸湾の埋立てによりかつて景勝地だった湾内に石油精製、造船、機械などの企業が進出して一大工業地帯が出現し、京浜工業地帯の一翼を担うように、なりました。従業員の住まいを確保するため内陸部に大規模団地開発が進み、さらに、国鉄(現JR)根岸線の延伸により沿線の宅地造成は加速し、区の人口は昭和40年からの10年間で1.6倍に達するなど大幅に増加しました。このような歴史を持つ磯子区では、現在でも、海つり施設やヨットハーバーで海に親しめ、市民の森で自然に接するなど、人々にとって魅力のあるまちであり続けています。(磯子区HPより抜粋)

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★磯子区役所発行図書ほか

### ①旧柳下邸・なつかし公園

旧柳下邸(きゅうやぎしたてい)の建物は明治～大正期の有力商人であった柳下氏により大正中頃に建設されました。大正12(1923)年の関東大震災では一部倒壊したものの、大部分は損失を免れ、その後、戦争など激動の昭和史の中を、柳下家の人々により大切に守り受け継がれてきました。横浜市では平成8(1996)年に敷地を取得し建物の寄附を受けて、できる限り創建当時の姿に復元し「根岸なつかし公園旧柳下邸」として一般公開しています。

### ②海照寺

真言宗高野山派の寺院。泉久山と号します。海照寺の創建年代等是不詳ながら、寛永8年(1603)に尊珍が中興、明治維新までは根岸村の緒神社の別当を兼帯していたといわれています。東国八十八ヶ所霊場51番、横浜観音三十三観世音霊場25番、横浜弘法大師二十一箇所14番です。

### ③市電保存館

「横浜市電」は、明治37(1904)年から昭和47(1972)年まで約70年間にわたって“ちんちん電車”の愛称で親しまれ、横浜市民の足として活躍しました。

横浜市電保存館は、市電が廃止された翌年の昭和48(1973)年8月に滝頭車両工場跡地に開館し、その後、昭和58(1983)年には、現在の市営住宅1階に建て直されました。館内には、7両の市電車両、停留所標識、

敷石を当時の姿で保存、市電が走っていた時代の「時間」と「空気」を感じることができる。

### ④密蔵院

真言宗の寺院で、400年以上前、江戸時代初期の慶長年間、1596年から1615年頃に現在の地に建立されました。大正7年頃に磯子七福神の一神で、「誰にでも功德を施す」と言われる**布袋尊像**を安置し、昭和9年には四国霊場第50番札所・伊予国繁多寺の本尊にちなみ薬師如来を祀りました。

### ⑤真照寺

高野山真言宗の寺院。山号は禅馬山。院号は三郷院または密蔵院。本尊は阿弥陀如来。

磯子七福神(**毘沙門天**)

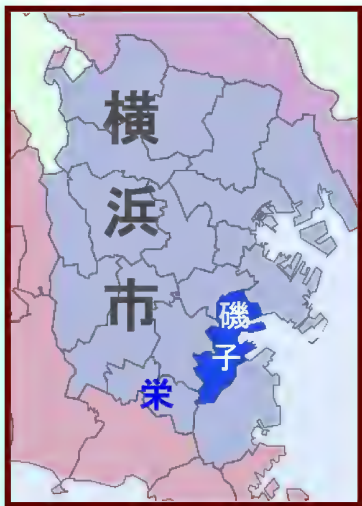
### ⑥磯子商店街(浜マーケット)

戦後まもなくの昭和20年(1945年)の暮れ頃、戦時中に戦車が通れるように作ってそのまま空地になっていた「疎開道路」の一部分、一間間口(1、8メートル)の店が10軒できたのが始まりです。当時は市電が通っており、その市電に乗って遠くからも、買い物客が来たほどの賑わいだったという。(商店街史より抜粋)

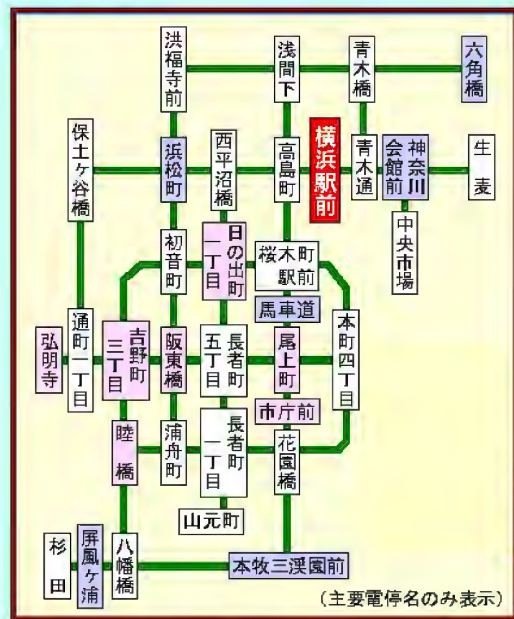
### ⑦磯子アベニュー

水がわき出しまちを海に注ぎこむという「水の一生」をテーマに、せせらぎのある遊歩道として、昭和62年につくられました。(磯子区HP)

文責：神田



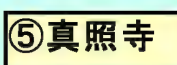
磯子区の位



横浜市電路線図 昭和40年現在

# 横浜散策18区

本郷ふじやま公園古民家歴史部会



昭和20年代(戦後)の「はまマーケット」



## 磯子区 根岸～磯子散策

全行程  
約00 km



**横浜の三大商店街**  
 興福寺松原商店街  
 横浜橋商店街  
 六角橋商店街

以上が巷間に伝わる横浜の三大商店街であるが、このほかにも弘明寺商店街、鶴見沖繩ストリートなどユニークな商店街も多数ある